

初歩の初歩…留学する勇気を分けていただきました from 太田先生



このインタビュー企画は、
チームWADA学生部委員長に任命されたひよっこ医学生の田中が
先生たちに質問をたくさんぶつけて記事にし、
同じ情報を欲するどこかの誰かに届けばいいな〜という気持ちで始めました。
気軽に読める留学参考書、みたいなものを目指していきたいですね ★

今回の対談メンバーはこちら



ゲスト
太田 壮美 Takeyoshi Ota
シカゴ大学 心臓外科
イリノイ州 アメリカ
チームWADA副代表



インタビュアー
田中 絵梨 Eri Tanaka
大阪医科大学 医学部3回生
高槻市 日本
海外旅行好きが高じて留学欲を拗
らせてしまった医者の卵

海外に行きたい！でもどう頑張ったら…(;▽;) USMLE 自信ないです…



USMLE は大半の人は受りたい！って思っても実際問題お金とか時間ないとかで断念しちゃいがち。しかも「何回受けてどんな成績だったのか？」が残ってしまうし、ちょっと怖い。一回目を受けるのに勇気がちょっといる。

僕の場合はフェロースhipで海外に行ったので、USMLE の点数はそこまで関係なくて「とりあえず合格点以上とれて受ければOK」「免許さえあれば雇ってもらえる」状況でした。僕のポスとあっちのポスが仲良く、それで行ってこい！ってなったわけ。

医者1年目からあっちにいかうと思うとハイスコアが要求されるので超ハードル高いけど、フェロー(研修期間を終えた後、もうちょっと勉強したいな…という人用)はそれに比べるとハードルが低め。

でも僕の場合、専門医をとらずにフェローとして行ったので就職はいろいろ大変で、一長一短…どこに行くにもちょっと裏口チックな感じになってしまうね。



医者になってからの USMLE の勉強は大変そう…いつ勉強するべきですか???



毎年 USMLE の参考書アップデートしてだらだらやるのもそれはそれで悪くないし、ちゃんと学生のうちに受けようと思って勉強するのももちろんいい。ただ、大人になってからの勉強はちょっと大変。学生の頃に比べると確実に「学ぶ力」が落ちるから、もし受けるつもりなら学生のうちに紙で勉強して受けられるものは受けておいた方が絶対楽！



英語にちょっと自信なくても大丈夫ですか? 😞



留学直前まで働いてたので、英語勉強しないと〜とは思いつつも結局何もせずに渡米してポスに怒られて病院のセカンドランゲージクラスで勉強させられた…日本人は読み書きができるせいで、メールでやり取りしてる間は「この日本人はペラペラだな〜」と思われる。でも会ったらしゃべれないのですごく驚かれる。何年海外にいたって勉強してなかったらしゃべれないし、英会話には「英会話の勉強」が必要。でも結局頑張る姿勢をみんなに見せてたら「しゃべれてない英語」を周りの人が理解してくれるようになってきたりする。

話せないとめっちゃくちゃ苦勞するから大丈夫とは言えない！しっかり勉強はしといたほうがいい！

でも「話せるようになる」のを待ってたら絶対にタイミング逃すから…だからもう自信なくても迷わず飛び込む！！なんとかなる！！そういう気持ちで突っ込んでいけばいい👊

セカンドランゲージだから結局多少やってた人もやってない人もあっち行って苦勞するのには変わらないし「話が舞い込んできたら即決しよう」っってもう決めとけばいいと思うよ😊



今回の学び

- 1 留学の仕方って人によりけり…長所短所も人それぞれ…
- 2 頭はどんどん歳を取る🧠 虐めるなら今のうち！
- 3 英会話力の成熟を待つことなかれ😌 機会は逃すな！

太田先生、ありがとうございました😊